



### ドイツの統一 難解

No.108、No.112参照

- 1) プロイセンはナポレオン戦争に敗れ、ティルジット条約で国土の半分を喪失。フィヒテは仏軍占領下のベルリンで『ドイツ国民に告ぐ』の連続講演(1807-08)を行った。シュタイン(任1807-08 ナポレオンの圧力で罷免)、ハルデンベルク 任1810-22らによるプロイセン改革が行われ、シャルンホルスト 1755-1813・グナイゼナウ 1760-1831による軍制改革で徴兵制に基づく国民軍が形成され、フンボルトが教育制度改革を行った。1807年に農奴制・身分制が廃止されたが小土地所有農民は創出されず、農民の多くは農業労働者となってユンカーの資本主義的農業経営の下に就労した。
- 2) 左図の太線の範囲はウィーン会議で成立(1815年)した「ドイツ連邦」である。諸君主国のゆるやかな連合にすぎず統一国家の実態を持たない。議会はフランクフルト・アム・マインにあった。11W フランクフルト・アム・マインの通称がフランクフルト
- 3) 工業地帯のラインラントを擁するプロイセンが統一の中心となった。北ドイツ関税同盟(1828)とこれに対抗する南ドイツ関税同盟が先行した。1834年、プロイセン

は、これらを統合して【1: 】を結成し、領域内の関税を撤廃、高関税障壁で外国商品の流入を阻止、関税収入は加盟国の人口比率に従って加盟各国に配分した。加盟国は増加を続け、オーストリアを除く全ドイツを経済的に統一。商工業者が望む経済的統一はほぼ実現してしまった。1840年代には鉄道建設も進みドイツの工業化を促進するとともに、統一の気運を高めた。この時既にオーストリアは除かれている。

- 4) 三月革命の影響下、1848年5月にフランクフルト・アム・マインで招集されたフランクフルト国民議会は、各邦の男子普通選挙で選出された議員から成り、憲法制定を通じた自由主義的なドイツ統一を図るものだった。三月革命の影響全般については、No.131を参照せよ。同じくフランクフルト・アム・マインにある「ドイツ連邦」の議会とは別物である。フランクフルト国民議会では、ドイツの統一方式をめぐる大ドイツ主義と小ドイツ主義が対立したが、小ドイツ主義が優位を占め、1848年の「ドイツ国民の基本法」に次いで、1849年、プロイセン国王を元首とする立憲君主政の自由主義的なドイツ国憲法を制定し、プロイセン国王をドイツ皇帝に推した。プロイセン国王、フリードリヒ=ヴィルヘルム4世 位1840-1861は「革命派からの帝冠は受けない」としてこれを拒否したので、最終的にはオーストリア、プロイセンといった有力君主国の支持も得られず頓挫した。フランクフルト国民議会は議員が相次いで帰国し、1849年6月にプロイセン軍によって解散させられた。国民主導のドイツ統一はならなかった。ドイツ統一運動の主導権は、自由主義者から、保守的なユンカー層に移った。なお、プロイセンの成立過程についてはNo.108、近代化についてはNo.112 を復習せよ。

《用語の整理》 大ドイツ主義：オーストリアの主導権のもとにオーストリアのドイツ人地域とベーメンを含めてドイツを統一する。

小ドイツ主義：プロイセンを中心にオーストリアを排除してドイツを統一する。

- 5) 1861年、国王【2: 世】位1861-88 即位、首相にユンカー出身の【3: 世】任1862-90 起用。ビスマルクは「鉄血宰相」の異名を持ち、経済力とプロイセン東部のユンカーを基盤とする軍事力を背景とする強引な【4: 世】で統一の主導権を握り、議会の反対を押し切り軍備を拡張した。鉄=軍事力 血=兵士『現在の大きな問題は言論や多数決、これが1848、1849年の大きな誤りであった、によってではなく、鉄と血によってのみ解決される』(1862.9.30下院予算案での演説)



- 6) シュレスヴィヒ・ホルシュタイン問題 (ドイツ系住民が多い)  
 シュレスヴィヒ公国 デンマークに帰属  
 ホルシュタイン公国 神聖ローマ帝国領→(15世紀以降)デンマークに帰属  
 ①1864年 【5: 世】

1863年 デンマーク王がシュレスヴィヒ公国の併合を宣言したことから、翌1864年、プロイセンがオーストリアを誘って出兵。ガシュタイン協定(1865)で決着したが、後掲②の原因となった。

シュレスヴィヒ公国→プロイセン/ホルシュタイン公国→オーストリア  
 ビスマルクはこの戦争でオーストリアの実力をはかたとされる。

その後、デンマークは農業・牧畜を主とする国づくりにつとめた。世界で最も多く飼育されている乳量最大の白・黒の牛はこの地方で開発されたホルスタイン種(=フリーシアン)である。

- ②【6: 世】(普墺戦争)1866年開戦。

「7週間戦争」とも言われる。

シュレスヴィヒ・ホルシュタインの帰属問題を契機に、プロイセンの挑発で開戦。プロイセンの圧勝!その結果、オーストリアがドイツ連邦から除かれ、プロイセン(図のB+C)がドイツ統一の主導権を握った!すなわち、ビスマルクは、ウィーン会議で成立したドイツ連邦を解体し、1867年、プロイセン王を盟主とする北ドイツ連邦を組織した(略図のA+B+C)。ドイツ連邦は名実ともに解消。北部ドイツは統一された。敗れたオーストリアはハンガリーのマジャール人に自治権を与え、同君連合【7: 世】の盟主となって、支配の

重点を東欧に移した。これはNo.136で詳述する。

- ③バイエルン、ヴュルテンベルクなど南ドイツの諸邦(略図のD)はプロ



